

ち おん じ 智 恩 寺

(日蓮宗)

遠野南部氏の祖先実長は日蓮大聖人に帰依し、身延山を寄進しました。明治21年(1888)栃木県佐野の妙音寺の久遠院日忍上人が遠野に来て布教。その後、明治23年(1890)にこの寺が創建されました。昭和21年(1964)2月実長650遠忌にあたり、身延山より「北身延」の公称を允許されました。



たい せん いん 対 泉 院

(曹洞宗)

寛永4年(1627)大慈寺とともに遠野に遷り、かつては学僧を育てる寺院でした。金石鑑砲射撃の砲弾破片を集め、恒久平和を願って作った観音像があります。昭和55年(1980)建立された仁王像は、鉄筋コンクリート製で、高さ5メートルを誇ります。



りゅう げん じ 柳 玄 寺

(曹洞宗)

大慈寺10世観応存真和尚が隠居し、草案を結んだ地。その功德を重んじ慶安4年(1651)に開山しました。『遠野物語』27話に記された望みのかなう石臼にまつわる話があり、石臼を抱えた姿を刻んだお墓があります。



だい じ じ 大 慈 寺

(曹洞宗)

遠野南部氏の菩提寺として寛永4年(1627)に八戸から遠野に遷りました。19世義山和尚は、飢餓で亡くなった多くの犠牲者を弔うため花崗岩に五百の羅漢像を刻したと言われています。『遠野物語拾遺』196話では、狐の嫁取りに騙され肴を取られた話の舞台となっています。



ぜん みょう じ 善 明 寺

(浄土宗)

寛永4年(1627)南部氏が青森県八戸から遠野に移封されたとき、善明寺も同行し12世紀に松崎に建立された養安寺と合併し金光山善明寺として現在の地に建立されました。伝慈覚大師作

「阿弥陀如来坐像」、金光上人縁の「天狗の牙」、鎌倉時代の豪族阿曾沼家の墓とされる「五輪塔」や、色鮮やかな「供養絵額」があります。



とのお ごう はち まん ぐう 遠野郷八幡宮

1189年源頼朝から遠野郷を賜った阿曾沼広綱が宮代に建立したのが始まり。出雲大社の御分霊を合祀し、創建から830年を超える。遠野南部氏初代直栄が寛文元年(1661)に宮代から現在の白岩に遷宮している。例大祭には遠野まつりも開催され、市内の郷土芸能が一堂に会する秋祭りとなる。家内安全、商売繁盛、合格祈願、安産、恋愛成就の神様として知られ、参拝者が絶えない。



なん ぶ じん じゃ 南 部 神 社

明治9年、明治天皇の東北巡幸の際、南北朝時代に南朝方に忠誠を尽くした遠野南部家先祖の事績をお聞きになり保存料を承った事から、同15年地元有志が発起し鍋倉神社を創立する。昭和19年に南部神社と改名し、遠野南部家初代から8代(勤王八世)を祀る神社となる。

地域の安泰を願う神社であり、勝負事、家内安全、商売繁盛にご利益があるとされる。

※期間中は宮司不在でも御朱印は受けれます。



う が じん じゃ 宇 迦 神 社

遠野有数の古社であるが、寛文年間(1661-1673)の大火により焼失し創建年は不明である。境内に清水があり、片目の鰻は神様の遣いとされる。火伏の神様として知られ、明治24年の大火では氏子の家々が消失の難を逃れている。また安産祈願、病氣平癒、合格祈願、商売繁盛などにご利益があるとされる。

また宇迦神社は丑・寅歳生まれ、摂社の



普賢神社は辰・巳年生まれの子の守護神として遠近からの参拝者が絶えない。

頒布日2/21&22

【要予約】神具一位(宮司宅) ☎0198-62-0439